

土木工事業様 導入事例

ユーザー	従業員数 (人)	年間完工高 (億)	売上÷人員 (百万)	導入目的	詳細
S組	9	2.7	30	仕入帳入力 工事台帳作成	インターネットからの問い合わせで資料ベースで検討され、1週間後に導入決定の連絡あり。どっと原価(簡単編)を基本操作指導なし(商品添付のマニュアルを参考に)で運用をスタート、稼働中。
T建設	14	5.2	37	工事原価管理と ISO運用の効率化	現場担当者が日報、総務事務が仕入をそれぞれ入力。工事原価の集計が月末時点でほぼ確認できる。ISOも日報で運用。
K建設	18	5.2	29	工事担当者による原価 明細を経理でチェックし 支払いへ	社長の息子さんが会社に入って3年…。今までは、手書き+Excelなどで、仕入、支払、請求業務を行っていた。そろそろ専用システムで業務管理をしようというタイミングで提案。経理は奥さんが担当し「どっと原価」の支払管理機能を活用し運用。
M組	38	18.0	47	オーダーメイドシステム からの切替	従来、オーダーメイドによる業務システムを利用してきたが、システムのカスタマイズ対応費用等で、かなりの費用がかけられていた。また、リースも6年目にはいり、パソコン機器のメンテナンスにも不安を感じていたため、機器類を含めたシステムの入れ替えを検討する時期に来ていた。一方で、工事管理部長は以前より経理主体から現場型予算管理・歩掛管理が出来る形態への移行の必要性も感じていたため、「どっと原価」を提案。Excelフリーの拡張性と支払管理オプションの充実度などから、切り替えをし、運用をスタート。
Y社	90	58.0	64	全社業務の一元管理 (受注登録～原価管理 ～会計連動まで)	今まで、現場担当者、現場管理者、総務、経理がそれぞれ、ばらばらに帳票を作成し会社としての統一性に欠け、作業的にも非常率のなところがあると、担当課長は感じていた。担当部長の提言もあり、システム導入検討に至った。「どっと」の標準機能とカスタマイズでユーザーの要望に対応でき、導入決定。

土木工事業様へ

- ①一日5分程度の作業日報入力でリアルタイム原価集計が可能です。
- ②予算管理や出来高進捗管理も日々確認できます。
- ③出面管理はもちろん、歩掛を自動集計し以後の予算作成に反映できます。